

ききごたえ! みごたえ十分! 生の迫力を体感してください!

ワープ上里窓席

林家正蔵

林家正蔵

一門会

林家つる子

林家まる子

落語協会副会長・九代目林家正蔵、
女性初の12人抜き真打の
新進気鋭の林家つる子、
林家まる子の痛快な漫談の
名人会をお楽しみください。

令和7年 **10月26日(日)** 15:30開場
16:00開演

会場 **ワープ上里(上里町総合文化センター)** 入場料 **3,500円(全席指定,消費税込)**
埼玉県児玉郡上里町大字七本木71-1 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット販売開始 **7月20日(日)午前9時より**

チケット電話予約 **7月20日(日)午後1時より**

※窓口販売分が完売の場合は午後1時からの電話予約はございません。ご了承ください。

■主催/(一財)上里町文化振興協会・上里町 ■後援/上里町教育委員会
■制作協力/伝統芸能ナカツボ ■お問合せ/ワープ上里 TEL.0495-34-0488

チケット販売場所

ワープ上里窓口 TEL.0495-34-0488 (9:00~17:00)
※発売初日のみ販売枚数を制限する場合があります。

ワープ上里 LINE 電子チケット スマートフォン等で
QRコードを読み取ってください。
※ご利用には、通話アプリ「LINE」へのご登録(お友だち登録)が必要となります。
※お支払いはキャッシュレスのみとなります。

※購入手続き中に「プラカゲ上」で「戻る」操作をされると、手続きが中断され、
購入できなくなる場合がございます。ご注意ください。



【プロフィール】

林家正蔵

1962年、東京都台東区根岸の生まれ。高校入学と同時に父・林家三平の下に入門。前座名「こぶ平」として落語協会に所属。

1981年5月、ニツ目昇進。1987年5月、最年少ながら13人抜きで真打に昇進。1989年3月、浅草芸能大賞・新人賞を受賞。1990年6月、国立花形演芸大賞・古典落語金賞を受賞。2005年3月、九代・林家正蔵を襲名。2005年9月、城西国際大学人文学部の客員教授に就任。同年12月、浅草芸能大賞・奨励賞を受賞。2014年、落語協会副会長に就任。2015年、第70回文化庁芸術祭優秀賞。

高座に姿を現すだけで場内を明るく出来る、数少ない噺家の一人。祖父であった七代目・林家正蔵、父・林家三平と、親子三代の真打は史上初。古典落語での進境著しく、祖父の名跡「正蔵」を襲名後も精力的に高座を務めている。その他にもテレビやCM、映画などに多数出演し、マルチな才能を発揮している。

著書には『お江戸週末散歩』（角川書店）、『落語いってみよう、やってみよう』（集英社）、『林家正蔵と読む落語の人びと、落語のくらし』（岩崎書店）他、多数。

林家正蔵

一門会



林家つる子

群馬県高崎市出身。古典落語の滑稽噺から人情噺、現代を舞台にした自作の新作落語にも取り組んでいる。一方で、古典落語の名作「子別れ」「芝浜」「紺屋高尾」の登場人物であるおかみさんや遊女を主人公にして、その視点から落語を描く挑戦を行っており、その挑戦が、2022年にNHK総合「目撃!つぼん」、日本テレビ「NEWS ZERO」、その他、新聞、雑誌等で取り上げられ大きな話題となった。「落語が初めての方も気軽に訪れてほしい」という想いから、寄席はもちろん、カフェやギャラリー、ライブハウスなどでの落語会も精力的に行っている。寄席やホール、テレビ、ラジオで活躍する一方、企業や学校へ向けての講演活動も行っている。

YouTube「つるチャン」では、落語や対談、生配信トーク、また、趣味である音楽、料理、様々なジャンルの動画を投稿している。



林家まる子

東京都武蔵野市出身。両親は初代林家三平の弟子で、夫婦漫才の林家ライス・カレー子。弟は江戸太神楽曲芸師の翁家勝丸という芸能一家。寄席では漫談を持ち芸としているが、テレビではレポーター・キャスターで出演中。2007年にガチャピン ムックのお姉さんとして活躍。DVDも2本発売。フジテレビ『おはよう茨城』のレポーターを13年間務めた。その縁で、2007年に「いばらき大使」に就任。2017年「日光観光大使」就任。2018年「防災士」取得。2019年防災の日に防災ソング『今すぐはじめよう』リリース。

